

令和6年第4回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和6年6月14日（金曜日）		開会	9:58		会議場所		別海町議会 委員会室 4	
				閉会	10:58					
委員の出欠		4 番	伊勢 徹	出席	5 番	貞宗 拓雄	出席	7 番	横田 保江	出席
		11 番	今西 和雄	出席	12 番	松原 政勝	出席			
出席説明員	産業振興部	産業振興部長		産業振興部次長		農政課長		商工観光課長		
		佐々木栄典	出席	小野 武史	欠席	皆川 学	出席	掘込 美穂	出席	
		水産みどり課技術主幹		商工観光課主幹		農政課主査		農政課主査		
		古里 達也	欠席	上杉 大洋	出席	金澤 亮太	欠席	山下 真弘	欠席	
		農政課主査		水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査		
		西郷 博之	欠席	岩光 信幸	出席	池田 友和	欠席	松本 芳樹	出席	
	建設水道部	建設水道部長		建設水道部次長		建設水道部次長		建築住宅課長		
		外石 昭博	出席	新堀 光行	出席	田畑 直樹	出席	廣島 静治	出席	
		事業課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課主幹		
		佐竹 和仁	出席	袴田 充輝	出席	入田 浩明	出席	篠田 敬介	欠席	
		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹		上下水道課主幹		
		前道 陽司	出席	板垣 正博	欠席	西田 和弘	欠席	植松 拓也	欠席	
		管理課主査		建築住宅課主査		建築住宅課主査				
		大滝 毅	欠席	伊井 崇史	欠席	志渡 正勝	欠席			
	農業委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主幹				
		川畑 智明	欠席	大山 晋作	欠席	成瀬 広子	欠席			
委員外の出席		議長	西原 浩					合計	1名	
事務局職員		局長	干場 富夫	主幹		木幡 友哉		合計	2名	
傍聴者数		議員	0名	報道関係者		0名		合計	0名	

令和6年第4回産業建設常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 11番 今西	9:58 開会
	出席委員5名、欠席委員0名、委員外1名、会期1日 【建設水道部所管事務調査】
委員長 11番 今西	挨拶
建設水道部長 外石	挨拶
委員長 11番 今西	議事1 所管事務調査について
	(2) 町道等の整備及び維持管理について
建設水道部次長 田畑	・町道等の維持補修業務委託の概要について資料により内容を説明。
委員長 11番 今西	質疑
委員 4番 伊勢	・昨年か今年で、町道の陥没箇所等にはまって車が故障した事例はあるか。
建設水道部次長 田畑	・昨年、今年と抑えている事例はない。なお、道路の維持補修が不十分であることによる車両の故障は補償の対象になるものと思われる。
	・近隣の町で狙って故障させている者がいるとの噂もあるので、本町での発生が気になったところ。
委員 4番 伊勢	・今のところない。
建設水道部次長 田畑	・グレーダでの路面補修について、公共施設に繋がる砂利道や、私道の集乳道、一人家庭の私道の対応などについては具体的にどう行われているか。
委員長 11番 今西	・砂利道の町道については全線グレーダ整備の対象となっている。また、集乳道となっている私道については整備しているが、純粋な私道については対象としていない。
	・除雪であれば、老人一人家庭の場合、町が除雪をしていると思うが、砂利道についてはそういう対応をしていないということではいか。
管理課主幹 入田	・除雪については福祉部で取りまとめて管理課で対応しているが、砂利道整備については特にやっていない。
委員長 11番 今西	・町道か農道か定かでないが、新酪事業などで各草地に行く砂利道が作ってある場所がある。その整備はどうなっているか。
管理課主幹 入田	・場所がわからないのではっきりとは答えることは難しいが、基本的には農道と法定外道路と呼ばれる道路の形を成しており通行のある町有地ならばグレーダをかけていることもあるかと思うが、営農用の作業道路については整備はしていない。
委員長 11番 今西	・法定外道路とは一応町道と捉えていいのか。
管理課主幹 入田	・町道ではなく、町の土地で通行ができるような場所のこと。
委員 12番 松原	・最近では農業用重機も大型化しており、狭い町道ではすれ違いが困難で、待避所があるものの、草が生い茂っていて舗装が見えない場所がある。私も通った時に、路肩から転落している車両を見たことがある。
	待避所の整備がされていないと農業車両の作業にも影響するので一度待避所の点検をしてはどうかと思うが。
委員長 11番 今西	・町道路肩の草刈も含めてという意味か。
委員 12番 松原	・それもあるが、主に待避所のある町道。
建設水道部次長 田畑	・道路パトロールに対して、待避所を重点的に見てほしいと指示をしたいと思う。
委員長 11番 今西	・他にあるか。
委員 一同	・なし。
委員長 11番 今西	10:17 建設水道部終了 休憩
委員長 11番 今西	10:20 再開
	【産業振興部所管事務調査】
委員長 11番 今西	挨拶

令和6年第4回産業建設常任委員会 要点記録

産業振興部長	佐々木	挨拶	・潮干狩りフェスティバルについて、雨のため1日中止とし、全5日間で実施したが、トラブルもなく無事終えることができた。
委員長	11番 今西	議事1 所管事務調査について	
商工観光課主査	松本	(1) ふるさと交流館について	・資料により、これまでの検討状況と利用者アンケートの内容を説明。 ・昨年度、町内関係部局が連携し、別海町ふるさと交流館庁内検討会議を設置した。 ・施設利用者90名からアンケートを徴し、回答者全員が存続を希望している。 ・入浴＋レストランでの営業が51%、入浴＋宿泊＋レストランでの営業が31%、入浴＋宿泊での営業が3%となり、85%の方が入浴以外の機能も希望している。 ・立地は94%の方が現在の場所でもいいとの回答。 ・検討会議としての今後の方向性として、設備改修等により入浴の継続を図るとともに、レストランや宿泊の再開に向けて検討を進めることを確認し、この結果を検討会議の総意として理事者に報告している。 ・今後は新源泉の掘削を含む温泉設備の改修を行いたい。また、建物のコンクリート強度調査等を実施したい。いずれも6月補正で予算計上予定。 ・並行して、庁内外の憩いや交流の拠点としてまちづくりに寄与するため、周辺一帯の整備構想や運用構想も検討していきたい。
委員長	11番 今西	質疑	
委員	4番 伊勢		・施設を利用している人90名のみのアンケートということは、全町的には来てない人が圧倒的に多く、回答に偏りがあるのではないかと。 - 施設の老朽化が進んでコストがかかるのに同じ場所に建てるのはどうかと思う。 - 町を中心から離れた高台で、温泉だけならいいかもしれないが、レストランや宿泊をやったうまくいかなかった結果がある中で、もっと多くのアンケートをとって、立地も検討する必要があるのではないかと。
商工観光課長	掘込		・ふるさと交流館の存続については、令和2年度に指定管理が終了する際にも、全町を対象にアンケートを実施している。 - その際に、過半数の方からふるさと交流館を存続してほしいという意向をいただいております。 - また、宿泊やレストラン部門についても、再開するというよりは、再開するかどうかについての検討を進めていきたい。 - 交流館の周辺にはキャンプ場や運動施設があり、旅行者等の誘客に必要な観光も含めたコンテンツが色々あることから、まちづくりとしてどのようにさらなる活性化ができるかを、今後ゾーンとして一体的に検討していきたい。
委員	4番 伊勢		・存続は必要だと思うが、存続させるにはコストのかかる老朽化した設備をまたリニューアルして活用するのはどうなのか。今の場所に固執してるのか。
産業振興部長	佐々木		・固執というか、今の温泉施設は先ほど課長が言ったとおり、周辺にはスポーツ施設やキャンプ場があることから、あの周辺を一体的に検討したいということである。 (ふるさと交流館の各設備が) 必要かどうかはまた並行して検討していきたいが、所管としては、結果はどうなるかわからないが、ゾーンでの検討ということを重点的に考えている。
委員	4番 伊勢		・他市町村でも公共施設でコストがかかり存続できなくなるような例があることから、私は今のエリアでいいのかを検討してもらいたいと考えている。
商工観光課長	掘込		・今回の検討も、決して新しいものをどんどん立てて周辺を一大観光地にしようというものではなく、せっかくキャンプ場やふるさとの森や運動施設があり、その利用者が、例えばスポーツが終わった後に温泉に行くだとか、一体的に今あるものをさらに有効活用していくことで誘客の促進が図れないかというのが最初の出発点だと思っている。

令和6年第4回産業建設常任委員会 要点記録

		その上で、この先、商工観光課だけではなく、庁舎内や外部の方々の声も拾いながら、どういったものが必要であるかを聞いた上で最低限の改修はしていきたい。 ・これまでもふるさと交流館に多くのコストをかけてきている。これからさらに経費をかけて町としてメリットがあるのか。売却等も考えて、徹底して対策をしなければまた同じことが起きると思う。 ・ふるさと交流館のさらなる利活用の検討は今後当然進めていくし、その際にどのような設備や運営方法が望ましいのかということも検討していきたいと思っているので、決して町として離さないということに固執しているわけではないということは理解いただきたい。 ・いかにここの交流館が利用しやすくなるかの方法を検討していかないと。ただ老朽化して機械が古くなったら入れ替えるでは、町がやればルールがあるからいろんな問題が起きるが、売ってしまえば町には負担がかからないので、そういう方法もあるのではないかな。 どの方法がベストなのか、本当にこの交流館は必要なのか、その辺を1年かかろうがきちんと検討したほうがいいと思う。皆さんが絶対来てよかったなっていうぐらいにやるんだという気持ちになって検討していただければと思う。 ・その意見も参考にさせていただきたい。先ほどからゾーンということで説明してきているが、そうすると観光だけではなく、まちづくりにもかかわってくると思うので、関係部署と一緒に協議しながら進めていきたい。 ・町外から来ている地域おこし協力隊などの意見も参考にしながら検討してほしい。 ・色々ご意見いただいたが、先ほど言ったように、固執してわけではなく、民間でやっていただけるのであればそのほうが良いとも思っている。 ただ、指定管理から見直した時も、その前も、結局買う人がいなかったというのが現実。 その上で、指定管理から直営になった時に、独居老人の方が自宅でヒートショックにかかったことなどもあり、公衆浴場は必要だということで、現在浴場を運営してる状況であることから、そのことについては御理解いただきたい。 ・ふるさと交流館については、これまで長い間議論してきている。経費の話もあるが、町の住民の福祉も含めてこれまで存続してきており、老朽化などで確かに費用もかかっているが、実業団や観光客に利用してもらえる施設が必要ではないかということについても、昨年から議論をしてきている。 町の将来に向けて、町民の福祉はもちろんであるが、観光に来てもらうためには宿泊施設も重要で、費用がかかる、かからないだけではなく、そのことも含めて検討会議で議論してもらいたい。 施設を廃止する話ではなく、どうしたらいいかを検討していったほしい。 ・検討会議は各部署にまたがってとのことだが、そこが大事なことだと思う。出てきた課題について、共通の意識のもとで会議に臨んでもらい、方向性をしっかりと出してもらおうような、今まで以上に他の所管とも密な関係を持った中で取り組んでいただきたいと思いますので、検討会議の内容についてもう少し説明を。 ・手持ちの資料がないので、詳細な説明はできないが、様々な部署の課長クラスが集まって会議の中で色々な議論をして意見をいただいている。 担当課に持ち帰っていただき、課内で協議した内容や考えていることなどを検討会議の場に出していただいているものと思う。また、検討会議に限らず必要な部分については、全体的場合ではなくとも、例えば総合政策課等、関係する機関とさらに連携して密に検討を進めていきたい。 ・先ほど第2回検討会議が終わった後、その内容等も含めて理事者に伝えたという話もあったが、検討会議の共通の方向性というか、また引き続きあると思うので、今後の対応について。 ・先ほども説明もさせていただいたが、検討会議の中での方向性として、入浴の継続を
委員	5番 貞宗	
商工観光課長	掘込	
委員	5番 貞宗	
商工観光課長	掘込	
委員	5番 貞宗	
産業振興部長	佐々木	
委員	12番 松原	
委員	4番 伊勢	
商工観光課長	掘込	
委員	4番 伊勢	
商工観光課長	掘込	

令和6年第4回産業建設常任委員会 要点記録

			図ること、それ以外の部門についても検討を進めるということについて、総意として報告している。
			今後の検討会議においても、当然必要な部分については、理事者に適時報告をしながら進めていきたい。
委員	4番	伊勢	・町としては、どのぐらいの目処で検討会議をやって、いつ頃に結論を出すといった時間的な目処は、どのぐらいと考えているか。
産業振興部長		佐々木	・このふるさと交流館については、町長の重点検討事項にも入っていて、来年度予算が絡むのであれば、当然10月、11月頃になるかと思うので、その頃までには、検討会議である程度の方向性は示すという指示があることから、それに向けて検討していきたい。
委員	4番	伊勢	・年度内にはある程度の方向性を出さなければいけないということか。
産業振興部長		佐々木	・今年度中には方向性というか方針を。
委員	4番	伊勢	・そうすると、検討会議で今結論も方向性もない状態で、あと半年ほどしか時間がなく、この産業建設常任委員会で討議をして結論を出す時間があるのか。
			・行政の中でもある程度話していることもあるだろうし、我々の委員会でも話し合いが必要なことから、どこかで全体の検討会を開催しないと決定できないのではないかな。
委員長	11番	今西	・伊勢委員の今言われた内容については、当委員会としても、今後も都度継続調査の中で経過等を調査していく。
			方向性については、この委員会の中で決定まではできないので、どういう状況かを逐次委員会としてもしっかり見ていきたいと思う。
			それを受けて、もしさらに踏み込んだ話をしたい場合、それぞれ議員としての一般質問の中で詰めていけると思うので、まず委員会としては、今説明受けた内容と、その経過を継続調査していきたいと思う。
委員	4番	伊勢	・年内に町側から予算等の案が出てくるということか。
産業振興部長		佐々木	・来年度予算がどうなるかは今の段階ではわからないが、例えば方向性が決まって、来年度にこの予算がかかりますとなった場合、予算案として提示し議会で決定する。
			それはおそらく2月、3月頃になるが、事業であることから、その前段で事業計画のヒアリングを受ける等の調整が必要であるため、10月、11月ぐらいには方向性を示さなければならない。
委員	4番	伊勢	・ということは年度内にある程度、建物を補修する、宿泊やレストランを行うといった提案がされる可能性もあるということか。
産業振興部長		佐々木	・検討内容によってはそうなることもあるかと思う。
委員	4番	伊勢	・それが出てきた場合、我々議員との意見交換の場は持てるのか。
委員長	11番	今西	・それは委員会の中での議論になる。そういう場を持つかどうかは委員会で決めることだと思う。あくまでも所管は、予算であれば議会に予算計上をしてという立場。
委員	4番	伊勢	・いずれにしても年内にはかなりの形作りをしてくると、そういうスピード感でやるということか。
産業振興部長		佐々木	・先ほども申し上げたように、町長の重点事項にも入っており、来年の予算が必要だとすれば11月ごろまでにはある程度方向性は示せるようなスケジュール感で進めていきたい。
委員長	11番	今西	・今日調査をして今の状況を確認したので、これについてのやり取りは協議会の中で議論し、さらに必要とあれば事務調査の中で継続してやるという流れでいきたいと思う。
			今回（6月定例会）の補正予算の中に、この交流館関連の補正が入っているので、それについての細かいやり取りは予算委員会の中で行ってほしい。
委員長	11番	今西	・他にあるか。
委員		一同	・なし
委員長	11番	今西	閉会挨拶
委員長	11番	今西	10:58 閉会